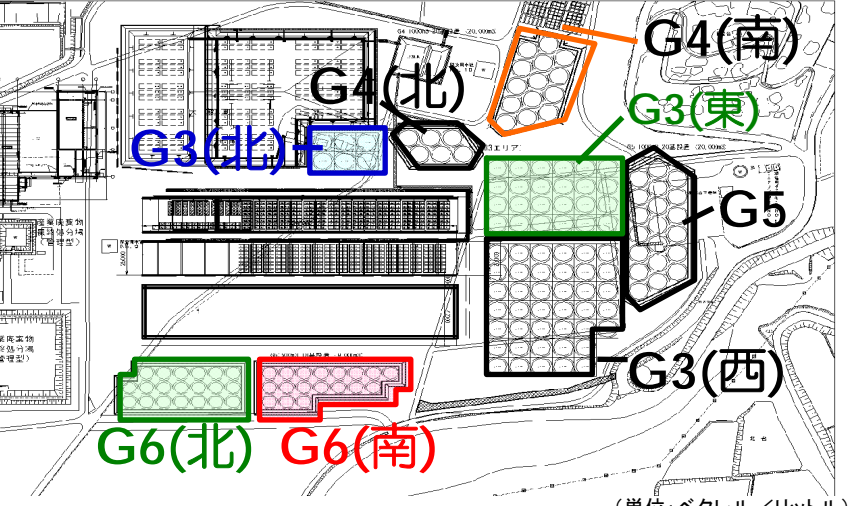
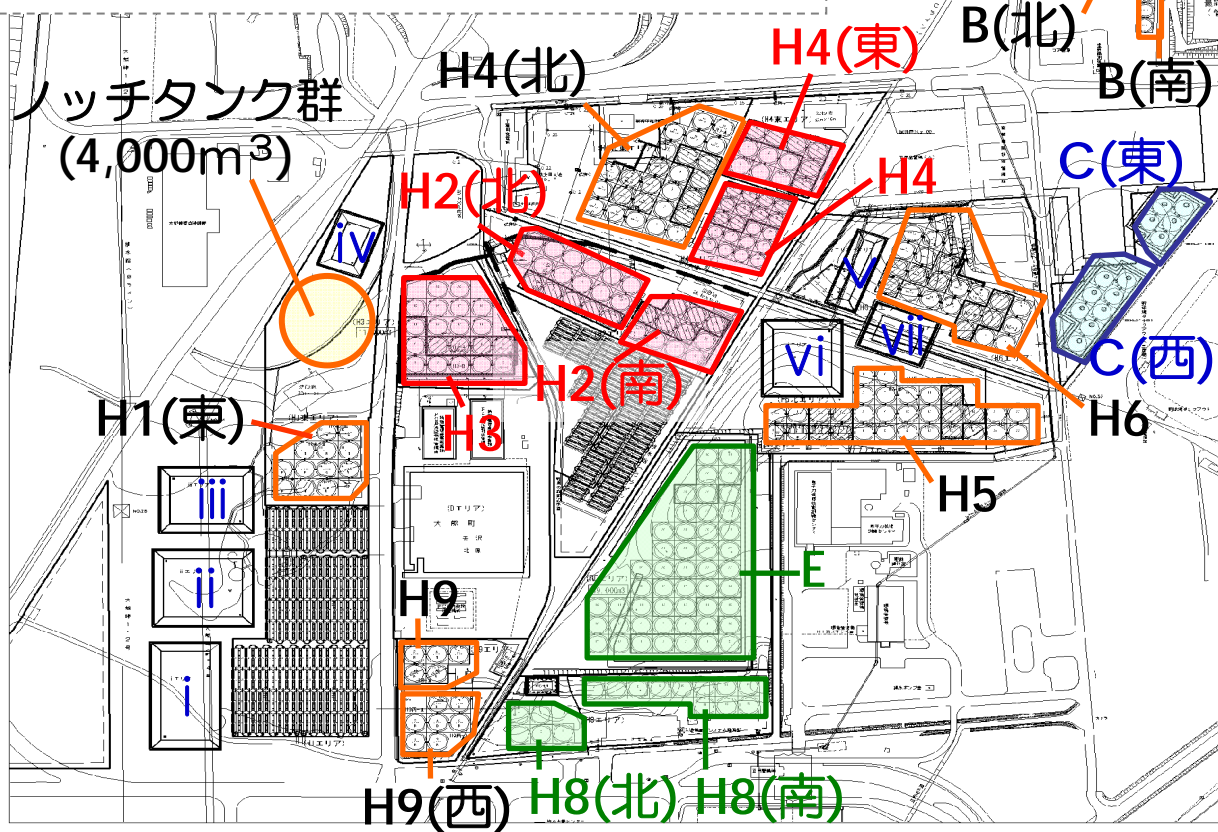


- 溢水し、かつ基準値を超えたエリア(6箇所)
- 溢水したが基準を満たしたためドレン弁開運用したエリア(5箇所)
- 溢水していないが基準を満たしていたためドレン弁にて放出したエリア(3箇所)
※C(東)はドレン弁がないので、ポンプによる排水を実施
- 堰内水位に余裕あり、ないしノッチタンク群等へ移送したエリア



(単位: ベクレル/リットル)

	エリア名	採取地点	セシウム134	セシウム137	ストロンチウム90
溢水した箇所 基準値超え	G6(南)	堰内1回目	ND(8.0)	ND(12)	21
		堰内2回目	ND(7.1)	ND(9.9)	11
		オーバーフロー水	ND(8.5)	12	10
	H2(北)	堰内	ND(7.8)	ND(10)	32
		オーバーフロー水	ND(7.2)	ND(10)	27
	H2(南)	堰内	ND(12)	ND(17)	710
		オーバーフロー水	ND(9.0)	ND(12)	710
	H3	堰内	ND(8.4)	ND(12)	160
		上層水	ND(8.2)	ND(12)	190
	H4	堰内	ND(12)	ND(17)	26
オーバーフロー水		ND(7.4)	ND(10)	13	
H4(東)	堰内	ND(7.3)	ND(9.9)	300	
	オーバーフロー水	ND(8.3)	ND(12)	240	
基準満たす ドレン弁開運用	E	堰内	ND(7.6)	ND(10)	2.7
	G3(東)	堰内	ND(12)	ND(17)	4.2
	G6(北)	堰内	ND(13)	ND(17)	7.2
	H8(北)	堰内	ND(12)	ND(17)	ND(2.2)
基準の値クリア 堰内水放出	H8(南)	堰内	ND(8.5)	ND(12)	2.3
	C(西)	堰内	ND(12)	ND(17)	ND(2.2)※
	C(東)	堰内	ND(8)	ND(10)	3.0
	G3(北)	堰内	ND(8.6)	ND(12)	4.1
排出基準			15未満	25未満	10未満

※ i ~ vii は、各地下貯水槽の位置。

※採取日: 平成25年10月20日

※C(西)エリアのストロンチウム90を「2.2」としていましたが、正しくは「ND(2.2)」です。
お詫びして訂正いたします。(平成25年10月22日訂正)